



「たび寅」が九州支店

顧客の宿泊施設増加で

ホテル・旅館向け予約システム付きホームページ(HP)制作のたび寅(諏訪市)は、九州地方で同社の予約システムを導入するホテルや旅館が増えていることに対応し、佐賀県武雄市に九州支店を開設した。同社のサービスは、ホテルなどに宿泊プランまで提案する総合的なコンサルタント業務が売り物。顧客への訪問頻度を高めて経営支援を強化し、予約実績に応じた成功報酬の拡大につなげる。

武雄市に支店を開いたのは、2年前に東京都内の展示商談会で知り合った九州ひぜん信用金庫(武雄市)の紹介

で顧客が増えているため。九州では格安航空会社(LCC)の登場で、航空機と宿を別々に予約する動きがあり、HPからの宿泊予約も増加が見込めると判断した。

九州支店には社員1人が常駐。九州地方の顧客は現在15カ所ほどだが、新規開拓にも力を入れ、2年後をめどに50カ所への拡大を目指す。

たび寅は、人材・情報サービス大手のリクルート(東京)が発行する旅行雑誌「じゃらん」で働いていた秋山晶子社長が2004年に設立。HP制作料を5万円に抑え、それ以外は宿泊施設の予約成

立に応じて代金の5%を受け取る事業モデルで全国約170カ所に顧客を広げている。

昨年11月には、約70カ所まで増えた県外顧客へのサービス向上を図るため東京支店(東京都世田谷区)を開設した。現在は2人体制で、1人増員する計画という。秋山社

長は「手厚いサービスで既存顧客の予約実績を伸ばしながら、新規顧客も増やしていきたい」と話している。